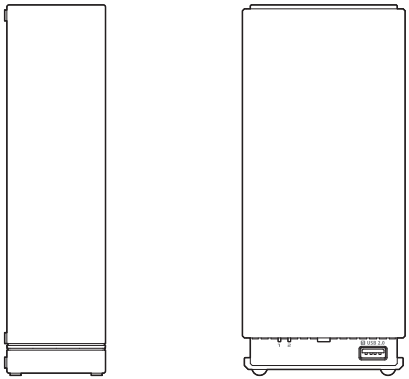
I-O DATA

管理マニュアル

LAN接続外付けハードディスク

HDL-AAWシリーズ



B-MANU202362-03

もくじ

はじめに 3
- 本製品の使用目的 3
- 使用説明の構成 3
- 安全のために 4
- 使用上のご注意 7
- 添付品を確認する 9
- オプションHDD、対応HDD/UPS 9
- 各部の名称・機能 11

基本的な使い方 13
- ステップ1：設置し、電源を入れる 14
- ステップ2：本製品の設定をする 17
- ステップ3：パソコンからアクセスする 30
- 基礎知識 36

便利な使い方 38
- 機能一覧 38
- 本製品の容量を増やす(2ドライブモデルのみ) 43

ランプと対処 45
- ランプの動作 45
- ブザーの動作 47
- 対処 48
- 内蔵ディスクの交換方法(2ドライブモデルのみ) 49

添付ソフトについて 52

アフターサービス 54
- お問い合わせについて 54
- 修理を依頼する方法 55
- ハードウェア保証規定 56
- ハードウェア保証書 60

はじめに

本製品の使用目的

本製品は、ネットワークに設置するネットワークHDD（NAS）です。
データファイルを本製品に保存し、ネットワーク上で共有できます。
※本製品は屋外に設置しないでください。

使用説明の構成

本製品の使用説明には、次のものがあります。

- **管理マニュアル（本書）**
  本製品の初期設定方法を説明しています。

- **画面で見るマニュアル**
  詳細設定などは、インターネットにある画面で見るマニュアルをご覧ください。（スマートフォンなどでも閲覧できます）
  ※本製品の設定画面上から開くこともできます。



最新の使用説明は、弊社サポートライブラリでご覧いただけます

http://www.iodata.jp/lib/
本製品の型番で検索してください。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。お使いの際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告・注意表示

警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

禁止		指示を守る	

警告

本製品を修理・改造・分解しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードに触れない
感電の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺では使わないでください。
- 水の入ったもの(コップ、花びんなど) を上に置かないでください。
- 万一、本製品がぬれた場合は、絶対に使わないでください。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてからおこなう
プラグを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz) 以外のコンセントにつながない
発火、発熱の恐れがあります。

電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。
添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

≪重要≫データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。
本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。
また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。
なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD・BD・DVDなど)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。)
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。

- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
- 市販のクリーニングキットは使わない。

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

●ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行った だけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

●NarSuSに登録している場合は、製品登録情報を削除してください。

●本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

本製品はローカルネットワーク上でご利用ください

本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置してインターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

添付品を確認する

☐ ACアダプター、電源コード
※ACアダプターと電源コードをつないで使います。

☐ LAN ケーブル(1m)

☐ 管理マニュアル(本書)

☐ Trend Micro NAS Security はじめにお読みください

オプションHDD、対応HDD/UPS

オプションHDD

2ドライブモデルの内蔵ディスクを交換する際に使うオプションHDDについては、以下の弊社ホームページをご確認ください。

http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm

ご注意

- オプションHDDには、システムはインストールされていません。
- 拡張ボリューム(出荷時設定) で使っている場合、容量をあとから増やすことができます。大きな容量のカートリッジへの交換方法は、【本製品の容量を増やす(2ドライブモデルのみ)】(43ページ) をご覧ください。
- RAID 1、RAID 0の場合は、本製品の容量をあとから増やすことはできません。

対応外付HDD

以下の弊社ホームページをご確認ください。

http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm

ご注意

外付HDDをはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこないます。

対応UPS

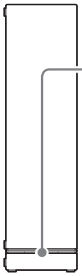
以下の弊社ホームページをご確認ください。

http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm

各部の名称・機能

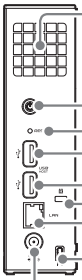
1ドライブモデル

●前面



電源ランプ：本製品の電源の状態を示します。（45ページ）

●背面



ファン：冷却用です。ふさがないでください。

電源ボタン：電源を入／切します。（16ページ）

RESETボタン：本製品の一部の設定を購入時に戻します。

USBポート2(USB 3.0)：外付HDDなどをつなぎます。

USBポート1(USB 2.0)：外付HDDなどをつなぎます。

ケンジントンセキュリティスロット：盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。

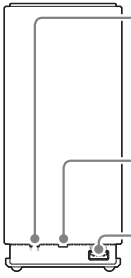
LANポート：LANケーブルでルーターと接続します。

ケーブルフック：ACアダプターの抜け防止用です。

電源コネクター：添付のACアダプターをつなぎます。

2ドライブモデル

●前面

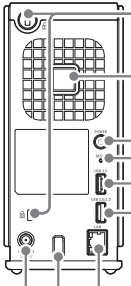


HDD1/2ランプ：緑点灯　内蔵ディスク正常認識時
（45ページ）　緑点滅　内蔵ディスクアクセス時
赤点灯　内蔵ディスクエラー時
消　灯　内蔵ディスク未接続時

電源ランプ：本製品の電源の状態を示します。（45ページ）

USBポート1(USB 2.0)：外付HDDなどをつなぎます。

●背面



ケンジントンセキュリティスロット：盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。（上はHDDも守れます）

ファン：冷却用です。ふさがないでください。

電源ボタン：電源を入／切します。（16ページ）

RESETボタン：本製品の一部の設定を購入時に戻します。

USBポート2(USB 2.0)：外付HDDなどをつなぎます。

USBポート3(USB 3.0)：外付HDDなどをつなぎます。

LANポート：LANケーブルでルーターと接続します。

ケーブルフック：ACアダプターの抜け防止用です。

電源コネクター：添付のACアダプターをつなぎます。

基本的な使い方

次の３ステップをおこなうと、データをパソコンから本製品に保存し、他のパソコンと共有できるようになります。

【ステップ１：設置し、電源を入れる】(14ページ)

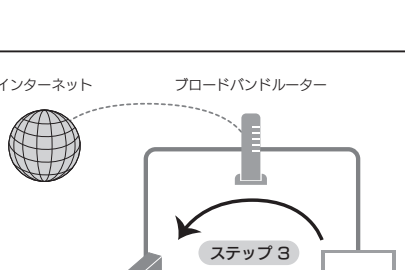
▼

【ステップ２：本製品の設定をする】(17ページ)

▼

【ステップ３：パソコンからアクセスする】(30ページ)

使用環境例



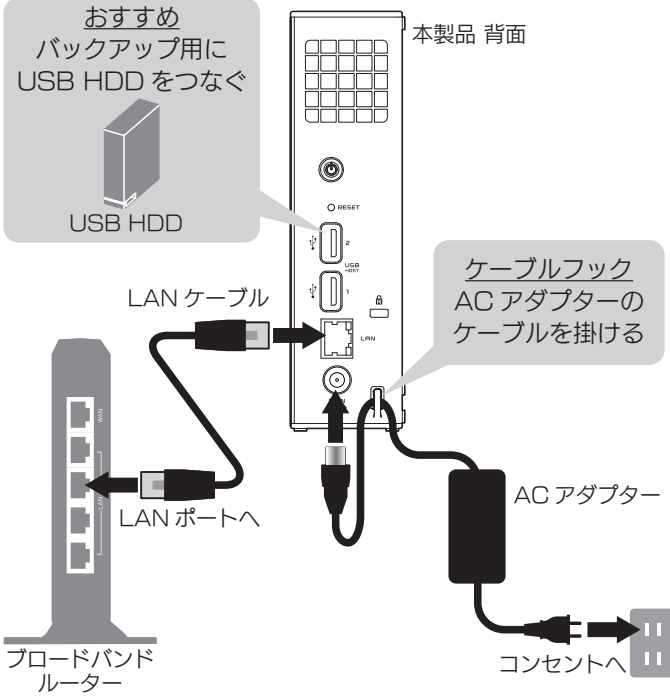
ブロードバンドルーターなどのDHCPサーバー機能をご確認ください

事前にご利用のネットワーク環境でDHCPサーバー機能が有効になっていることをご確認ください。(ネットワーク管理者にご確認ください。)
DHCPサーバー機能が無効な場合は、本製品をネットワークに参加させるための適切なIP アドレスを取得し、本製品に設定してください。
※ IPアドレスは、【ステップ2】の「初期設定」の［ネットワーク］タブで設定します。(【管理者パスワードと初期設定をする】(21 ページ) 参照)
※一般的なブロードバンドルーターはDHCPサーバー機能が有効となっているため、IP アドレスの設定は必要ありません。

ステップ1：設置し、電源を入れる

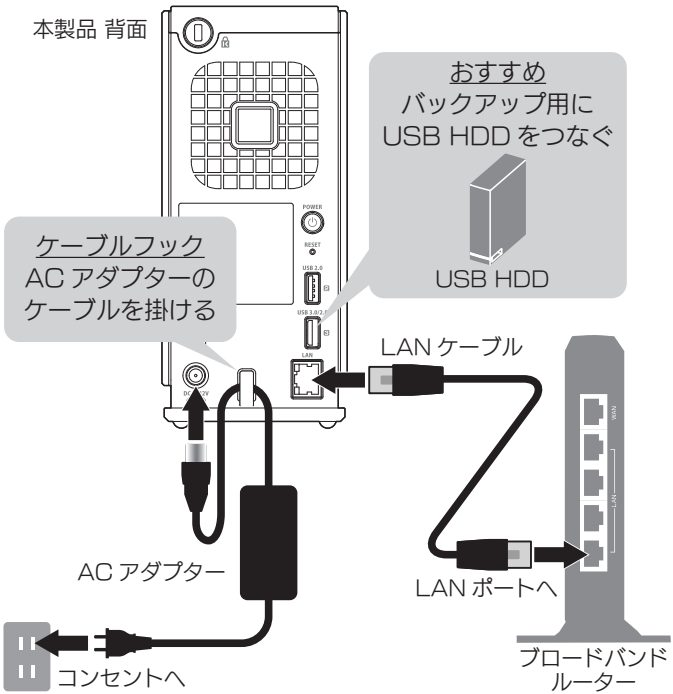
設置する

●1ドライブモデル



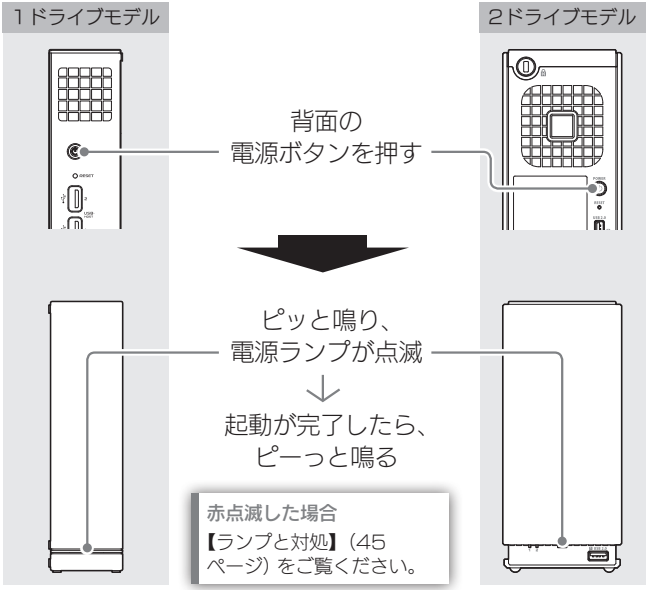
※ バックアップについては、【データを守る（バックアップ）】（37ページ）をご覧ください。

●2ドライブモデル



※ バックアップについては、【データを守る(バックアップ)】(37ページ)をご覧ください。

電源を入れる



次に、【ステップ2：本製品の設定をする】（17ページ）へお進みください。

ご注意：電源を切る場合

電源ボタンを長押しすると、電源を切れます。
電源ランプが点滅し、電源ランプが消灯したら、電源切断は完了です。
電源ランプが消える前に、絶対に電源ケーブルを抜かないください。
故障の原因になります。

ステップ2：本製品の設定をする

導入用ソフトウェアをインストールする

設定画面を開くためのソフトウェアをインストールします。
Windowsでは「LAN DISK コネクト」、macOSでは「Magical Finder」をインストールします。
※上記ソフトウェアをインストール済みの場合、【設定画面を開く】（20ページ）へお進みください。

●Windowsの場合　※macOSの場合は、19ページ参照

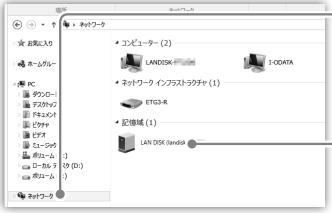
1



をクリック

※ Windows Vistaでは、[スタート]→[コンピュータ]をクリックします。

2



[ネットワーク]をクリック

↓

記憶域の[LANDISK-xxxxxx]をダブルクリック

※「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と表示された場合は、再度アイコンをダブルクリックしてください。

「記憶域」や[LANDISK-xxxxxx] が表示されない場合

以下をお試しください。

- 画面内の白いところを右クリックし、[グループで表示] →[カテゴリ] をクリックする　または、[最新の情報に更新] をクリックする
- セキュリティソフトのファイアウォール機能を一時的に解除する
- 画面上部にネットワーク探索が無効と表示された場合は有効にする
- 弊社Webページ「サポートライブラリ」からLAN DISKコネクトをダウンロードしてインストールする
  http://www.iodata.jp/r/5160

3



[セットアップスタート]をクリック

4



[実行]をクリック

ユーザーアカウント制御が表示されたら



[はい]をクリック

5 インストールが完了すると、デスクトップ上に[LAN DISK] アイコンが表示されます。



次に、【設定画面を開く】（20ページ）へお進みください。

●macOSの場合

弊社Webページ「サポートライブラリ」からMagical Finderをダウンロードし、インストールしてください。

http://www.iodata.jp/r/3022.htm

次に、【設定画面を開く】（20ページ）へお進みください。

設定画面を開く

●Windowsの場合

1 デスクトップ上の[LAN DISK] をダブルクリック
⇒LAN DISKコネクトが開きます。



2



[LANDISK-xxxxxx] を右クリック

[設定画面を開く]をクリック

次に、【管理者パスワードと初期設定をする】(21 ページ) へお進みください。

●macOSの場合

1 「Magical Finder」を開く

2



[ブラウザ]をクリック

次に、【管理者パスワードと初期設定をする】(21 ページ) へお進みください。

管理者パスワードと初期設定をする

はじめて設定画面を開いた時は、最初に管理者(ユーザー名：admin)のパスワードを設定し、初期設定へ進みます。
※ 初期設定の内容は、後から設定画面で変更できます。

1



何も入力せずに、
[ログイン]をクリック

2



2つの欄に同じ管理者パスワードを入力する

↓

[適用]をクリック

管理者(admin) について

管理者パスワードを使うと、本製品の全設定やすべての共有(全員共有、ユーザー共有、グループ共有) にアクセスできます。
※ パスワードは洩れないようにしっかり管理し、定期的に変更してください。
※ すべての共有にアクセスできるのは、Windowsからだけです。
※ 管理者パスワードは、次の場合などに使います。
- 本製品の設定画面を開く
- LAN DISKコネクト、Magical FinderからIP設定する
- 管理者として共有フォルダーにアクセスする

※ 管理者パスワードを忘れてしまった場合
リセットボタンを押すと、管理者パスワードとネットワーク設定が出荷時設定に戻ります。

3



[初期設定を保持する]をクリック

※ 各タブの設定は、基本的に変更しなくても利用できます。

各タブの設定内容

タブ	内容
名前	本製品の名前、説明、設置場所を設定できます。名前を変更した場合は、ネットワーク上で表示される本製品の名前が変わります。
ネットワーク	本製品のIPアドレス設定ができます。(IPv4のみ)
Microsoft ネットワーク	本製品が参加するネットワークを設定できます。
時刻	本製品の時刻設定ができます。
内蔵ボリューム	本製品のRAID モードの変更や暗号化の設定ができます。
省電力	本製品の省電力設定ができます。
電源スケジュール	本製品の起動時刻、終了時刻のスケジュール設定ができます。

次に、【NarSuS登録をする】(23ページ) へお進みください。

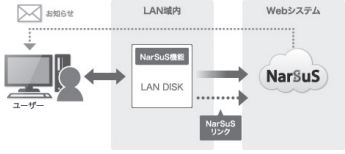
NarSuS登録をする

NarSuS（ナーサス）とは?

「NarSuS（ナーサス）」とは、製品の状態をインターネット経由で管理できるクラウド管理機能です。
お客様に代わってNarSuSデータセンターが製品の状態を把握し、万が一の障害をいち早く察知し通知します。

● 製品と離れたところからでも状態を確認
Web上の管理画面なので、どこからでも状態を確認できます。

● トラブル時にすばやくメールでお知らせ
製品にトラブルが発生したら、NarSuSデータセンターが状態を察知し、NarSuSデータセンターからメールでトラブルをお知らせします。



● トラブル対処ガイダンス
トラブル発生の際に状況に合わせた対応ガイドを表示します。
イラストつきのガイドにしたがって操作するだけで、難しいバックアップの再構築やHDD交換など、迷うことなく対処できます。



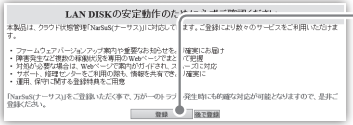
● セキュリティへの配慮
NarSuSの通信は、製品からNarSuSデータセンターへ、HTTPSで暗号化された一方通行の送信をおこなっています。
そのためNarSuSデータセンター側から、直接製品に接続することはありません。また、製品から送信するデータは、製品の稼働情報のみであり、利用されているユーザーの情報やユーザーデータ（ファイルなど）が送信されることはありません。

ご利用環境

■対象製品の設置環境
インターネット接続可能な環境でご利用いただけます。
※ https で通信するため、ポート 443 の解放が必要です。
※ Internet Explorer でご利用の場合、［インターネットオプション］→［セキュリティ］を開き、［信頼済みサイト］に"https://www.narsus.jp"を登録しておいてください。
※ NarSuS は、IPv4 ネットワークでのみ使えます。

■対象製品の設置環境
以下の各 Web ブラウザーの最新バージョンをご利用ください。
・Internet Explorer（IE8 以上）
・Chrome
・Firefox
・Safari
・Microsoft Edge

1 「初期設定」画面を閉じると、下の画面が表示されます。

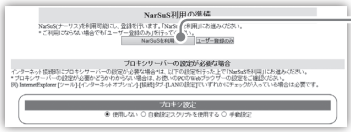


［登録］をクリック
※後で登録：この画面を閉じますが、次回もこの画面が表示されます。

本製品をインターネットに接続できない場合

この後の手順が異なります。
［登録］をクリック後、【インターネットに接続できない場合の登録】（27ページ）をご覧ください。

2

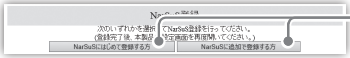


[NarSuSを利用]をクリック

プロキシサーバーの設定

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、この画面で設定できます。

3



NarSuSの登録状況でどちらかをクリック

※追加で登録する場合は、ログイン後[製品追加登録] をクリックします。

4 画面の指示に従って、必要事項を入力し、登録する

5 登録が完了したら、Webブラウザーを閉じる

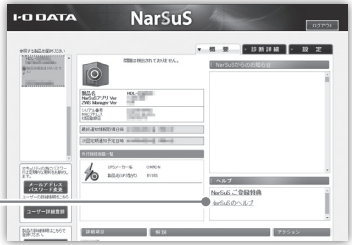
登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。
次に、【ファームウェアの更新について確認する】(28ページ) へお進みください。

設定・登録に失敗した

- 以下を確認してください。
  - インターネット接続できること
  - LAN ケーブルが抜けていないこと
  - プロキシサーバーの設定が必要な場合、設定が正しいこと
  - 本製品のTCP/IP設定が手動の場合、設定が正しいこと
- お使いのWebブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアした上で、再度お試しください。

NarSuSを活用する

①NarSuSにアクセスして、ログインする
https://www.narsus.jp/
②NarSuSで本製品の情報を確認したり、設定をする
※詳しくは、ヘルプをご覧ください。

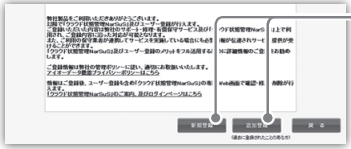


インターネットに接続できない場合の登録

1 インターネットに接続できるパソコンなどから、Webブラウザーで以下のURLにアクセスする

https://www.narsus.jp/user-reg

2



NarSuSの登録状況でどちらかをクリック

※追加で登録する場合は、ログイン後[製品追加登録]をクリックします。

3 必要事項を入力し、[登録/更新]をクリック

4 入力内容を確認し、[この内容で登録する※]をクリック

※ 追加登録の場合は、[OK]をクリックします。

5



利用コードをメモする

※送付されるメールにも記載されています。

ここから本製品の画面

6



[ユーザー登録のみ]をクリック

7



利用コードを入力

↓

[保存]をクリック

ファームウェアの更新について確認する

●本製品がインターネットに接続できる場合

ご購入時、ファームウェアの自動更新機能は有効です。
そのため、常に最新のファームウェアでお使いいただけます。

次に、【Trend Micro NAS Securityを有効にする】（29ページ）へお進みください。

●本製品がインターネットに接続できない場合

以下の手順で更新してください。

1 本製品の最新ファームウェアを入手する

http://www.iodata.jp/lib/

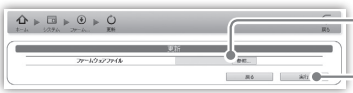
2 本製品の設定画面を開く（20ページ）

3 

[システム]→[ファームウェア]→[更新]をクリック

4 

[ファームウェアファイルを指定する]を選ぶ
↓
[更新]をクリック

5 

ファイルを指定する
↓
[実行]をクリック

次に、【Trend Micro NAS Securityを有効にする】（29ページ）へお進みください。

Trend Micro NAS Securityを有効にする

本製品には、アドオンパッケージ「Trend Micro NAS Security」のライセンスが付いています。
添付の『Trend Micro NAS Security はじめにお読みください』をご覧になり、パッケージの追加後、使えるようにしてください（アクティベート）

※使用方法については、「画面で見るマニュアル」（3ページ）から「パッケージ（追加機能）取扱説明書」をご覧ください。

次に、【ステップ3：パソコンからアクセスする】（30ページ）へお進みください。

ステップ3：パソコンからアクセスする

アクセス用ユーザーを作成し、アクセス権を設定する

パソコンから本製品にアクセスするために必要なユーザーを作成します。

登録するユーザーについて

ネットワーク（パソコン）にログオンする際の[ユーザー名]と[パスワード]で登録すると、本製品へのアクセス時にユーザー名とパスワードの入力が不要になります。

1 本製品の設定画面を開く（20ページ）

2



設定画面の[ユーザー&グループ]→[ユーザー]→[追加]をクリック

3



[ユーザー名]、[パスワード]、[パスワード]（確認）を入力

※ 入力可能な文字列は、画面で見るマニュアルをご覧ください。

↓

[追加]をクリック

⇒アクセス用ユーザーが作成されます。

4 次に、作成したユーザーに「disk1」フォルダーへのアクセス権をつけます。

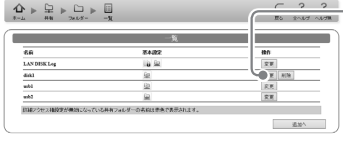


5

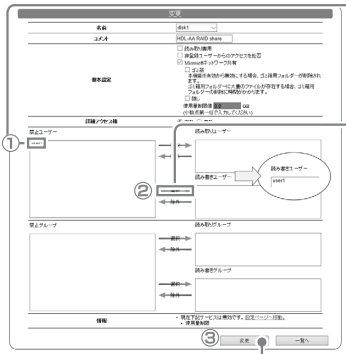


[共有]→[フォルダー]→[一覧]をクリック

6



7



[禁止ユーザー]にある
手順2で作成した
ユーザーをクリック

[読み書きユーザー]の
[選択]をクリック
⇒[読み書きユーザー] に
移ります。

※ その他の設定は不要です。

[変更]をクリック

次に、【共有フォルダーにアクセスする】（33ページ）へお進みください。

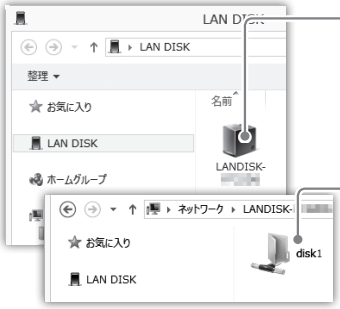
共有フォルダーにアクセスする

●Windowsの場合

1 デスクトップ上の[LAN DISK] をダブルクリック
⇒LAN DISKコネクトが開きます。



2



[LANDISK-xxxxxx] をダブルクリック

[disk1]を ダブルクリック
これで、データを読み書きできます。

ユーザー名、パスワードを求められたら
アクセス用ユーザーのユーザー名、パスワードを入力します。

パソコン1台でご利用の場合は設定完了です。

- 2台目以降のパソコンでご利用の場合も、【ステップ3：パソコンからアクセスする】（30ページ）以降の手順でユーザーを作成してください。
- 本製品に保存したデータを守るために必ずバックアップを設定してください。バックアップについては、【データを守る（バックアップ）】（37ページ）以降をご覧ください。

●macOSでお使いの場合

1 Finderの[移動]メニュー→[サーバへ接続] をクリック

2



①LAN DISKの名前
[LANDISK-xxxxxx]
を入入力

②[接続]をクリック

※xxxxxxは、本製品のシールに記載のMACアドレス下6桁です。

接続できない場合

本製品からLANケーブルを抜き、ゆっくり4秒数えてから再びLANケーブルをつないでください。

3



①[登録ユーザ]を選ぶ

②アクセス用の
ユーザー名(名前)と
パスワードを入力

③[接続]をクリック

4



パソコン1台でご利用の場合は設定完了です。

- 2台目以降のパソコンでご利用の場合も、【ステップ3：パソコンからアクセスする】（30ページ）以降の手順でユーザーを作成してください。
- 本製品に保存したデータを守るために必ずバックアップを設定してください。バックアップについては、【データを守る（バックアップ）】（37ページ）以降をご覧ください。

基礎知識

本製品の機能を使うための基礎知識です。
以下の内容を踏まえた上で、【便利な使い方】（38ページ）をご覧ください。

共有フォルダーとは

本製品内のデータを格納する場所で、追加や削除ができます。
共有フォルダーごとにアクセス制限が設定できます。

最初から設定されている共有フォルダー

※ 以下の共有フォルダーは、出荷時設定では管理者（admin）のみがアクセスできます。

共有フォルダー	内容
disk1	ご購入時に設定されている使用のための共有フォルダーです。
LAN DISK Log	データーコピーや、バックアップなどの結果が記録されます。 ※ この共有フォルダーは削除できません。
usbx ※xはポート番号	本製品のUSBポートにつないだUSB HDDです。 USBポート2につないだUSB HDDは、[usb2] と表示されます。

ユーザー・グループとは

共有フォルダーへのアクセスを制限するための単位です。
各人（または各端末）ごとにユーザーを設定し、そのユーザーがアクセスできるかを設定できます。また、複数ユーザーをまとめたグループを作り、それに対してアクセス権を設定できます。

データを守る(バックアップ)

パソコンと本製品の2か所に同じデータを保存することで、万一の故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えます。
不測の事態に備えるために、バックアップの設定をしてください。
別売のUSB HDDを本製品に増設し、本製品のデータをバックアップすることもできます。

機能を追加する(アドオンパッケージ)

本製品には、さらに別の機能を追加することができます。
詳細は、パッケージ取扱説明書(HTML) をご覧ください。

●基本アドオンパッケージ

パッケージ名	機能
FTP	FTPクライアントよりアクセス
クラウドストレージ連携	以下のクラウドストレージと同期 (Amazon S3 ／ Microsoft Azure ／ Box ／ Cloud^{n} ／ Dropbox)
レプリケーション	メイン機と予備機の共有フォルダーを同期し、同じ状態に保つ
クローン	マスター機の設定やファイルをスレーブ機に保存
H/XR/XV移行	弊社製HDL-H、XR、XVシリーズから本製品にデータや設定を移行
メディアサーバー	同じネットワーク内のパソコンやテレビのメディアプレーヤーから、本製品内の指定したフォルダー内のコンテンツを楽しむ
Trend Micro NAS Security	トレンドマイクロ社のNAS向けアンチウイルス機能

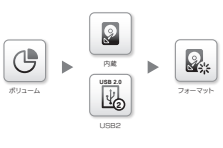
その他、外出先からのアクセスなどのパッケージを予定しております。
最新情報は、設定画面の[システム] →[パッケージ管理] →[追加] でご確認ください。

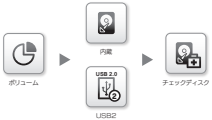
便利な使い方

機能一覧

本製品には以下の機能があります。
詳しい設定方法は画面で見るマニュアルをご覧ください。

機能(目的)	使用・設定方法	画面で見るマニュアル参照先
ユーザー、グループを追加する		【共有設定する】
共有フォルダーを追加する		【共有設定する】
削除したファイルを一時的に保管する	共有の追加・変更で設定	【ゴミ箱機能】
CSVファイルを利用して共有を一括登録		【一括登録する】
履歴ごとにバックアップ(履歴差分バックアップ)		【バックアップする】
フォルダー構成を保持したデータコピー		【データコピー】
USBメモリーのデータを自動コピー	(初期設定) USBポート1につなぐ	【クイックコピー】

機能(目的)	設定方法	画面で見るマニュアル参照先
別のHDDに複製(ミラーリング)		【USB HDDを利用したミラーリング】
USB HDDをつなぐ(フォーマットする)	(初期設定) USBポート2につなぐ	【USB HDDを増設する】
機能を追加する(パッケージ追加)		【機能を追加する(パッケージ)】
使う容量を制限する		【使用量制限を有効にする】
ユーザーの使用量を制限する		【ユーザーごとに使用量制限を設定する】
グループの使用量を制限する		【グループごとに使用量制限を設定する】
フォルダーの使用量を制限する		【共有フォルダーごとに使用量制限を設定する】
暗号化する		【暗号化ボリュームを作成/解除する】
暗号化のためのロックキーを管理する		【キーサーバー機能】

機能(目的)	設定方法	画面で見るマニュアル参照先
HDDにエラーがないか確認する		【チェックディスク】
ネットワーク上の名前変更する		【LAN DISKの名前変更する】
日付と時刻を設定する		【日付と時刻を設定する】
IPアドレスなどを設定する		【ネットワークを設定する】
プロキシを利用する場合の設定をする		【プロキシを設定する】
管理者パスワードを変更する		【管理者パスワードを設定する】
電源を切る/再起動する		【シャットダウン/再起動する】
起動/終了時刻を設定する		【起動スケジュールを設定する】
停電復帰時に自動で電源を入れる		【AC電源連動設定をする】

機能(目的)	設定方法	画面で見るマニュアル参照先
電力消費を抑える		【省電力機能を使う】
RESETボタンを無効にする		【各ボタンを有効/無効にする】
ランプの明るさを調節する		【ランプの明るさを設定する】
正常に動作していることを確認する		【本製品の自己診断をする】
ファームウェアの更新設定を変更する		【ファームウェアを更新する】
本製品に対する操作の履歴(ログ) を確認する		【アクセスログを確認する】
システム動作の履歴(ログ) を確認する		【システムログを確認する】
各設定情報を確認する		【本製品の情報を確認する】
本製品を出荷時設定に戻す		【出荷時設定に戻す】
プリンターを増設する	USBポート2につなぐ	【プリンターをつなぐ】

機能(目的)	設定方法	画面で見るマニュアル参照先
UPSを増設し、UPS関連の各設定をおこなう		【UPSをつなぐ】
Active Directoryへログオンする		【Active Directoryへログオンする】
メールで各種通知をおこなう		【本製品の動きを通知する】

本製品の容量を増やす(2ドライブモデルのみ)

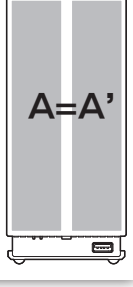
内蔵ディスクを順に交換し、最終的に両方を交換することで本製品の容量を増やします。

容量を増やせるのは、「拡張ボリューム」の場合のみです

他のRAIDモードでは、この操作はできません。場合によっては、RAID崩壊のおそれがあります。(現在のRAIDモードは、[情報・ログ表示] →[ボリューム情報] で確認できます)

拡張ボリュームとは?(ご購入時の設定は拡張ボリュームです)

- 動作
  2台のHDDでペアを構成し、ファイル単位でミラーリングします。
- 故障時
  ペアがAとA'で構成されている場合、仮にAが故障した場合はA'が補完します。
  Aを交換すると、A'からAへ再構築処理を実施します。
  この時、使われている容量分のみで再構築するため、処理が早く完了します。
- 容量
  ミラーリングするため、内蔵ディスクの容量を合計したものの半分が本製品の容量となります。
- 構成
  内蔵ディスクが2台のため、ペアが1つできます。



準備する

現在の内蔵ディスクの容量より大きいオプションHDD（9ページ）を2台準備します。

交換方法

1 本製品の電源を切る

2 内蔵ディスクを片方取り外し、容量の大きいものと交換する

※【内蔵ディスクの交換方法(2ドライブモデルのみ)】(49ページ)参照

3 本製品の電源を入れる

⇒ 再構築が開始されます。
再構築が終わるまでお待ちください。
再構築の状況は[情報・ログ表示]→[ボリューム情報]で確認できます。

4 再構築が終わったら、本製品の電源を切る

5 もう片方の内蔵ディスクを容量の大きいものと交換する

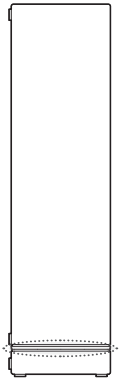
6 本製品の電源を入れる

⇒ 再構築が開始されます。
再構築が終わったら、本製品の容量が増えます。

ランプと対処

ランプの動作

●1ドライブモデル



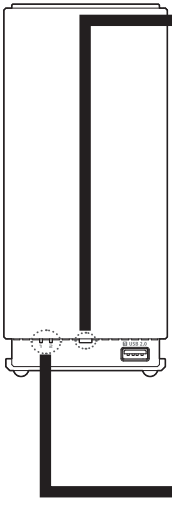
緑点滅

起動中や終了中、または何らかのシステム処理が実行されています。
本製品をコンセントから抜いたりしないでください。

赤点灯 / 点滅

- LANケーブルが正しくつながっているかご確認ください。
- 本製品にエラーが発生しています。画面で見るマニュアルを参考に、設定画面からシステムログを表示してご確認ください。（赤点灯：警告レベル、赤点滅：エラーレベル）

●2ドライブモデル



緑点滅

起動中や終了中、または何らかのシステム処理が実行されています。
本製品をコンセントから抜いたりしないでください。

赤点灯 / 点滅

- LANケーブルが正しくつながっているかご確認ください。
- 本製品にエラーが発生しています。画面で見るマニュアルを参考に、設定画面からシステムログを表示してご確認ください。（赤点灯：警告レベル、赤点滅：エラーレベル）

赤点灯

RAID崩壊しています。赤点滅の内蔵HDDを交換してください。
（赤点灯の内蔵HDDは正常です）

赤点滅

対応する内蔵ディスクが故障していますので、交換してください。（48ページ）

消灯

対応する内蔵ディスクが取り付けられていません。

ブザーの動作

「ピー」× 1回 鳴る	● 正常に起動した ● 内蔵ディスクやUSB HDDを正常に取り付けた ● クイックコピー /ボリューム設定変更/ などに成功した
「ピー」× 3回 鳴る	● DHCPサーバーからIPアドレスを取得できなかった DHCPサーバー設置、固定IP設定などネットワークを検討 ● 内蔵ディスクを取り付けたが、問題があった(故障や容量不足) ● USB HDDを取り付けたが、問題があった(故障や容量不足、フォーマット形式に対応していない) ● 対応していないカメラやメモリーをつないだ(クイックコピーモード) ● クイックコピーに失敗した(ログを確認) ● 設定変更/操作に失敗した ● インターネットに接続できなかった ・ルーターとの接続を確認、RESETボタンでの一部設定の初期化(方法は【画面で見るマニュアル】参照) ・インターネット接続しない場合 【画面で見るマニュアル】の【ランプと対処】参照、またはネットワーク設定などを確認
「ピッ」× 3回 鳴る	● フォーマット/チェックディスク/バックアップ/クイックコピーが正常終了した
「ピッ、ピッ」と鳴り続く	● RAIDの構成に問題が発生している(内蔵ディスクの故障など)
「ピーポー」と鳴り続く	● RAIDが崩壊した(内蔵ディスクの故障など)
「ドレミ」と鳴り続く	● UPSが接続されていない/停電状態(UPS警告が有効)
「ピピッ」と鳴り続く	● 警告対象が、使用量制限値に達した(使用量警告が有効)

※ 一部、2ドライブモデルだけに該当する内容があります。

対処

ランプ・ブザーの状況から内蔵ディスクやUSB HDDが故障していないかを確認します。

アクセスできないデータがある場合

本製品の電源をいったん完全に切り、再び電源を入れてください。
場合によっては、保存されたデータにアクセスできることがあります。
※ 弊社では、取り出したデータの保証はできません。

内蔵ディスクが故障している場合

内蔵ディスクの交換が必要です。
【内蔵ディスクの交換方法(2ドライブモデルのみ)】(49ページ)
をご覧になり、新しい内蔵ディスクに交換してください。
※ 内蔵ディスクが完全に交換されるまで、データの冗長性は失われています。
速やかに交換してください。

USB HDDが故障している場合

USB HDDの交換が必要です。
故障したUSB HDDを取り外し、新しいUSB HDDをつないでください。

RAIDが崩壊していたら…

本製品のRAIDモードを拡張ボリューム以外に変更していた場合は、RAID崩壊の可能性があります。
この場合の対処方法は、【画面で見るマニュアル】内の【HDD故障時の対応】をご確認ください。

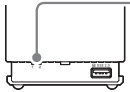
内蔵ディスクの交換方法(2ドライブモデルのみ)

内蔵ディスク交換時のご注意

- 内蔵ディスクは、故障時以外には取り外さないでください。
  不用意に取り外すと冗長性が失われたり、すべてのデータを失う危険があります。
  拡張ボリュームで容量を増やす際は、記載された手順にしたがってください。
  【本製品の容量を増やす(2ドライブモデルのみ)】(43ページ) 参照
- 内蔵ディスクの交換は、必ず説明通りに1台ずつしてください。
- 金具などで手を切るなどのケガをしないようにご注意ください。

オプションHDD
【オプションHDD】(9ページ) 参照

1

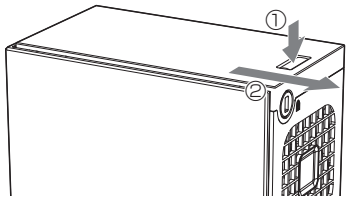


HDD1/2ランプを見て、交換が必要な内蔵ディスクを確認する

2 本製品の電源を切り、十分に冷めるまで待つ

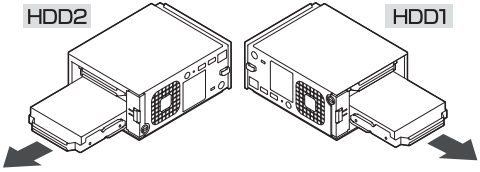
※【ご注意：電源を切る場合】(16ページ) 参照

3

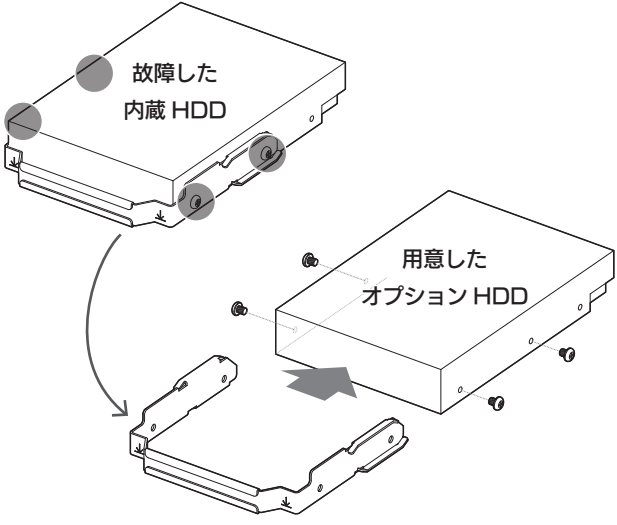


本製品のフタを外す

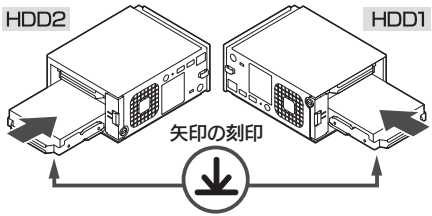
4 交換する内蔵ディスクが下になるように本製品を寝かせ、内蔵ディスクを取り出す



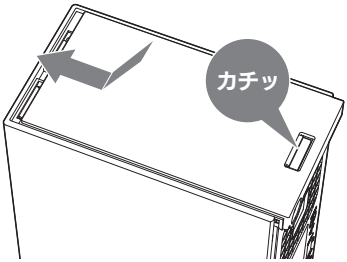
5 ネジを4か所外し、用意したオプションHDDに金具を付け替える



6 ハンドルの矢印が下側を向くように取り付ける



7 本製品のフタを閉じる



添付ソフトについて

本製品の使用には必須ではありません。必要に応じてダウンロードしてください。
使用方法については、各ソフトのマニュアルをご覧ください。

●弊社Webページ「サポートライブラリ」から、ダウンロードできるソフト

http://www.iodata.jp/lib/ ※本製品の型番で検索します。

ソフト名	詳細
EasySaver 4 LE	多彩な機能でカスタマイズして、バックアップを設定できます。
Sync with	フォルダー間を定期的に同期します。簡単なバックアップもできます。
LAN DISK Admin	LAN DISKを複数台導入した場合の設定を一括で管理することができます。
LAN DISK Restore	設定データをコピーして流用することで、複数台導入時の初期設定を省力化することができます。
LAN DISK Key Server	ボリュームの暗号化機能によりUSBメモリーに保存されたキーをサーバー上に保存して、このサーバーをロックキーの代わりとして利用するソフトウェアです。 本製品の起動の度にロックキーを接続する作業が不要になり、ロックキーを安全な場所に常に保存しておくことができます。

ソフト名	詳細
LAN DISK Backup Reader	本製品が故障し、専用フォーマットのUSB HDDからバックアップファイルが読み出せない場合に、パソコンからデータを読み出すことができます。
Sight On	メールソフト感覚の簡単操作で、ユーザーによるファイル更新を知ることができます。ファイル更新時にポップアップで通知します。

アフターサービス

●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（http://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。
●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

お問い合わせについて

弊社サポートページにて、**以下をご確認ください**

▼**弊社サポートページ**
http://www.iodata.jp/support/

1 「画面で見るマニュアル」の「困ったときには」を参照
2 「Q&A よくあるご質問」を参照
3 最新のソフトウェアをダウンロード



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話 ▶ 050-3116-3025
※受付時間　9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）
インターネット ▶ http://www.iodata.jp/support/

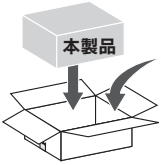
※ご用意いただく情報▷製品情報（製品名、シリアル番号など）、PCや接続機器の情報（型番、OSなど）

修理を依頼する方法

保証期間 本体 3年間

保証期間 HDD 1年間

以下を**梱包**し、**修理センター**へ**お送りください**



レシート、納品書
など**購入日**を示すもの
または**保証書**

＋

メモ
・名前 ・住所 ・TEL/FAX番号
・メールアドレス ・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号（S/N）はお手元に控えておいてください。
【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください（修理依頼書はここから印刷できます）。

修理について詳しくは以下をご確認ください
http://www.iodata.jp/support/after/

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象
保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
4) 中古品でご購入された場合
5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
7) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
8) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因す

る故障もしくは損傷の場合
9) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理
1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責
1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲
弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【使用ソフトウェアについて】
※本製品には、GNU General Public License Version3 (GPLv3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWebページをご確認ください。
http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【保守サービスのご案内】
アイオー・セーフティ・サービス(ISS) は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。
設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。詳しくは以下をご確認ください。

http://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。
(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク(NAS)「LAN DISKシリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。

http://www.iodata.jp/biz/whitepaper/

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。

ハードウェア保証書

型　番	HDL-AAWシリーズ
保証期間	ご購入日より　本体 **3** 年間　搭載のHDD **1** 年間　有効です

☆お客様	ふりがな
	お名前　様
	TEL.（　　）　　–
	〒□□□-□□□□ ご住所

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。
記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。
販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販売店	ご購入日
	住所・店名　印
	TEL.（　　）　　–

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。

I-O DATA

株式会社 アイ・オー・データ機器

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器

ホームページ　http://www.iodata.jp/